

2021年4月、熊本大学文学部文学科に、
多言語文化学コースが新設されます

異文化を理解し、
多文化と共生できる
グローバルな人材に。



多言語文化学コースとは？

多言語文化学コースでは、文学や文化を複眼的・国際的に考察する視野を養います。本コースには、「比較文学」と「国際文化学」という2つの履修モデルがあります。「比較文学」は、異なる言語や文化を背景とする文学・芸術作品の特色を、「影響」「受容」「変容」に目を向けることで明らかにします。「国際文化学」はより広い意味での文化を研究対象とし、様々な文化の特色を、異文化同士の接触に注目して明らかにします。いずれの履修モデルも、固有の作品や現象から、人類にとっての文学や文化の普遍性を探求します。



Kumamoto University

身につけることのできる知識とスキル

広い視野から世界の様々な文学、文化を比較

「比較文学」は、文学作品に限らず、今日では美術、映画、音楽といった視覚・聴覚表象全般を研究対象とします。開かれた視野から、物事をなるべく相対的に捉えようとする学問です。世界の様々な文学作品や文化現象を比較し、差異や共通点を知ることで、自分の帰属する文化や文学に対する理解も深まります。

異文化理解を深め、国際交流の実践に活用

「国際文化学」は、外国語運用能力をもとに各言語・文化圏について学ぶだけでなく、国際的な視野から文化を捉えることにより異文化理解を深めることを目指します。また、文化接触によって新たな文化が生まれる文化変容のプロセスを学びます。国際交流が進むグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指します。

【開講予定科目例】

科目名	説明
比較文学・国際文化学入門	文学・文化は言語や国境を越え普遍性があることを学び、比較文学、比較文化、文化接触についての理解を深めます。
比較文学概論Ⅰ	比較文学研究の方法、すなわち「影響」「伝播」「受容」「変容」「翻訳」などを、具体的な研究例を通して学びます。
比較文化論演習	欧米文化の日本における受容のあり方を、その時代背景に対する理解を深めながら学習します。
比較文学特殊講義Ⅰ	欧米文学の東アジアにおける受容や、東アジア地域の文学・文化の関わりなどについて、体系的に深く学びます。
国際文化学概論	言語文化、宗教、多文化共生、文化の越境など国際的視点から文化を学びます。
外国語演習	異文化理解に不可欠な外国語能力を2年次で確実に養成します。
国際文化学演習	国際文化についての理論的な研究を参考に、各自の問題意識をもとに発表や議論を行います。

Q&A

Q1

多言語文化学コースが 文学部に設置されるのはなぜですか？

文学部では英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語などの言語、文学について専門的に学ぶことが出来ますが、それらの知識を活かしつつ、言語・文化圏を越えた文学や文化を学び、国際的な視野で異文化を理解する力が現代社会にとって重要となるからです。

Q2

具体的にどんな研究を行うのですか？

「東アジア」と「欧米」をまたぐ研究や、それ以外の地域の研究、文学にとどまらず、絵画や演劇、映画、マンガなどについての研究も扱います。

Q3

コミュニケーション情報学科「文化資源学コース」での マンガ研究とどう違いますか？

文学部のコースですので、資源としてのマンガの活用という視点ではなく、マンガも視覚芸術表現のひとつと捉え、その背景にある文化について学んだり、別の芸術ジャンルとの比較をしたりします。

Q4

どのような受験対策をすればよいですか？

熊本大学文学部に合格する学力を身につけるために、高校でしっかり学ぶことにつきます。入試の種類ごとに準備は異なりますが、高校の間に、世界の文学や世界の様々な文化に関心をもってもらえればと思います。

Q5

どんな学生にきてほしいですか？

日本のみならず海外にも興味がある学生、外国人留学生との交流や留学などを通して、異文化体験をしてみたいと思っている人。卒業後は、日本と世界の架け橋となるような仕事に関心がある人。